

第2回先進地視察報告

第2回先進地視察 概要

■実施日程・視察先

日程		施設名	所在地
1日目 10月23日(月)	(1)	デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KITTO)	兵庫県神戸市
	(2)	立誠ガーデンヒューリック京都	京都府京都市
2日目 10月24日(火)	(3)	金沢21世紀美術館	石川県金沢市
	(4)	しいのき迎賓館	石川県金沢市
	(5)	石川県立歴史博物館 (いしかわ赤レンガミュージアム)	石川県金沢市
	(6)	金沢市民芸術村	石川県金沢市

■建物概要

年代	当初：旧館：1927年 新館：1932年 改修：2011年：オープンに向けての改修工事 2016年1月～3月：ギャラリーの改修
設計者	当初：旧館：清水栄二 新館：置塩章 改修：佐藤総合計画
延床面積	旧館：3,489㎡ 新館：10290㎡
階数	旧館：地上4階地下1階 新館：地上4階地下1階
構造	旧館：鉄筋コンクリート造 新館：鉄筋鉄骨コンクリート造
登録等	神戸市指定景観資源※
事業運営	指定管理者制度
改修前の状況	<ul style="list-style-type: none"> 1927年に輸出生糸の品質検査を行う施設として神戸市立生糸検査所（旧館）建設 1932年国に移管し、国立生糸検査所（新館）が建設
保存改修の概要	<ul style="list-style-type: none"> 元神戸市立生糸検査所、国立生糸検査所を神戸市の創造拠点としてホール、ギャラリー、オフィス、アトリエ、会議室、ショップ、カフェなどを持つ、デザインや、アートに関するイベント、レクチャー、展示等を行う複合施設に改修している 外観は当時の様子を保ちつつ全面的に耐震補強、設備機器の改修を行っている

※都市景観上特に重要であると認められる建築物に対して神戸市が「管理計画」を策定し建築物の保全・活用を図るもの。近代建築、近世住宅、茅葺民家等35棟が指定されている。

■当日写真



写真1. 施設外観



写真2. 施設概要等について説明を受けた

(1) デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KITTO)

■当日写真

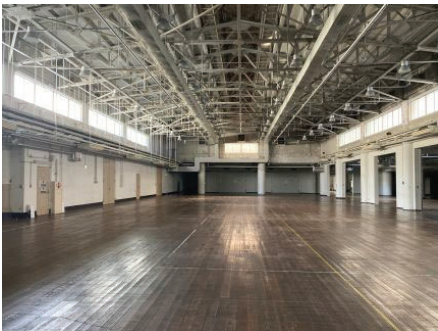


写真3. 大空間を生かし、マルシェやダンス等に利用されるKITTOホール

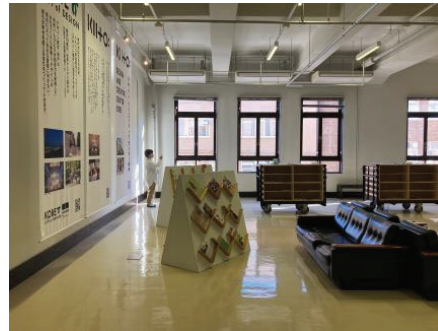


写真4. 施設内の家具等は当時の検査機器が再活用されている

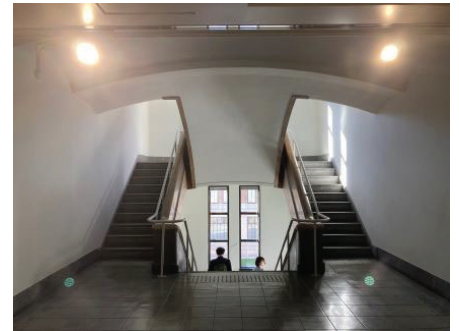


写真5. 神戸市指定景観資源の指定による建築基準法の制限緩和を受けて、保存された既存階段

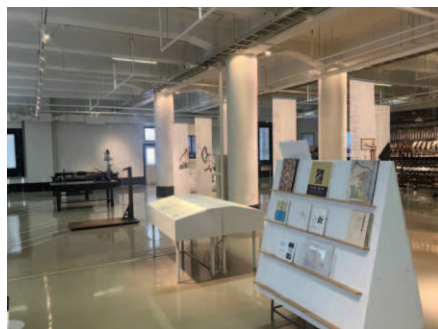


写真6. 施設の歴史を展示するギャラリー

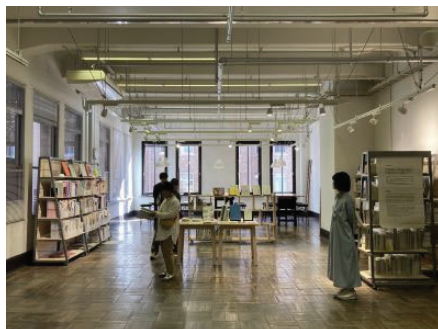


写真7. オフィス・デザイン資料等のライブラリースペース



写真8. 自習等にも利用できるクリエイティブラウンジ

■建物概要

年代	当初：旧館：1927年 新館：1932年 改修：2018年11月～2020年6月
設計者	改修：竹中工務店、中村啓介、足立祐己、奥田祐大
延床面積	14,929.84㎡
階数	既存棟：地上3階 増築棟：地下1階地上8階 塔屋：1階 東屋・回廊：地上1階
構造	既存棟：鉄筋コンクリート造 増築棟：鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造 東屋・回廊：鉄骨造
登録等	歴史的風致形成建造物
事業運営	民間主体、自治会連合会との協力
改修前の状況	<ul style="list-style-type: none"> 1993年立誠小学校閉校 京都で現存する最古のRC造の校舎
保存改修の概要	<ul style="list-style-type: none"> 元立誠小学校の校舎を保全・再生した既存棟と、それにデザインを調和させた新築棟から構成される 図書館・ホール・店舗等の地域コミュニティ・文化機能とホテル機能が共存する計画

■当日写真



写真1. 施設外観



写真2. レストランにて施設利用状況等の質疑応答が行われた

(2) 立誠ガーデンヒューリック京都

■当日写真



写真3. 高瀬川に面した広場は人々が自由に過ごすことができる



写真4. 椅子やステージも配置可能な多目的ホール

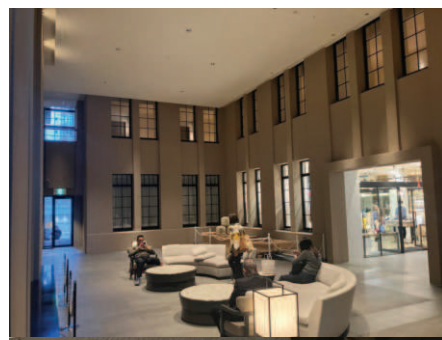


写真5. 既存の中庭部分に屋根をかけ内部化し、既存部と増築部を接続した

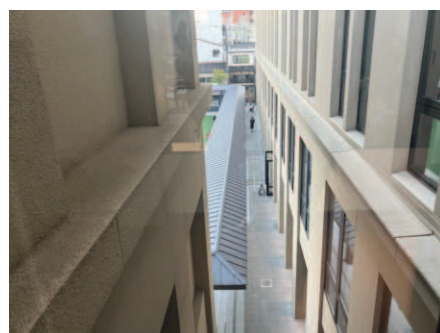


写真6. 増築棟は保存棟のデザインを踏襲している



写真7. 曳家技術を用いて木組み・建具、家具が竣工時のまま残された自彊室

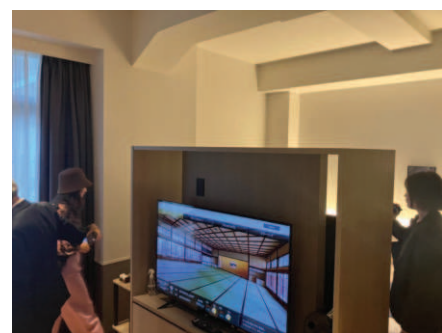


写真8. 既存校舎の教室の躯体を活用したホテル客室

■建物概要

年代	当初：2004年竣工
設計者	当初：妹島和世建築設計事務所＋SANAA事務所共同体
延床面積	17,069㎡
階数	地下2階 地上2階
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
登録等	—
事業運営	指定管理者制度
概要	<ul style="list-style-type: none"> 金沢大学附属中学校・小学校・幼稚園の跡地に建設 現代美術館と公共の交流館が併設した複合型施設 コンセプトは「まちに開かれた公園のような美術館」



写真2. 無料エリア内でも展示作品を楽しむことができ、展示に合わせて有料エリアの分けも変更できる

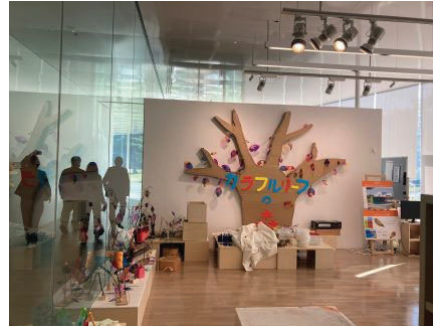


写真3. キッズスタジオでは、親子で作品の製作などが可能

■当日写真



写真1. 施設外観



写真4. 会議室にて施設概要の説明を受けた

(4) しいのき迎賓館

■建物概要

年代	当初：1922年～1926年竣工 改修：2008年～2010年
設計者	当初：矢橋賢吉 改修：株式会社山下設計
延床面積	8,642.10㎡
階数	地上3階 地下1階
構造	鉄筋コンクリート3階建（前面塔屋4階建）
登録等	登録有形文化財
事業運営	指定管理者制度
改修前の状況	<ul style="list-style-type: none"> 1924年の竣工から2002年まで県庁舎として利用された 県内で最も古い鉄筋コンクリート造のひとつ
保存改修の概要	<ul style="list-style-type: none"> 旧県庁舎の一部を保存し、内部空間の意匠性、空間性を生かし、免震構造が採用された 総合観光案内・レストラン・カフェ・会議室・ギャラリー棟を備えた交流施設として改修

■当日写真



写真1. 施設外観（保存部）



写真2. 施設外観（改修部）

■建物概要

年代	当初：金沢陸軍兵器支廠 第5兵器庫：1909年 第6兵器庫：1913年 第7兵器庫：1914 改修：1983年：改修工事第1期 1990年：改修工事第3期 2015年：「いしかわ赤レンガミュージアム」として リニューアル
設計者	当初：旧陸軍第九師団家経理部 改修：
延床面積	18,737.92㎡
階数	地上2階
構造	煉瓦造
登録等	国指定重要文化財
事業運営	県直営
改修前の 状況	<ul style="list-style-type: none"> かつて陸軍の兵器庫として利用されていた 戦後は金沢美術工芸大学に使用される
保存改修 の概要	<ul style="list-style-type: none"> 博物館として再利用するにあたり、外観は創建当時の姿を復元 かつては陸軍の兵器庫として使用され、その後、金沢美術工芸専門学校として使用されたのち、1986年に博物館として開館した 3棟をそれぞれ歴史発見館、交流体験館、加賀本多博物館とし棟ごとに役割を持たせている

■当日写真



写真1. 施設外観



写真2. 施設概要等の説明を受けた

(5) 石川県立歴史博物館（いしかわ赤レンガミュージアム）

■当日写真

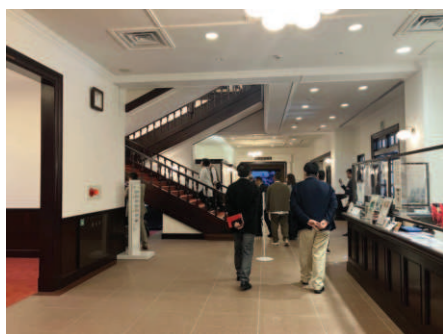


写真3. 第1棟は外壁のみを残し、内部は鉄筋コンクリート造で一新



写真4. 第2棟は鉄骨で補強されている



写真5. 第3棟は木造構造を残し、竣工当初の姿に最も近い



写真6. エントランスに煉瓦造の基礎部分が保存展示されている



写真7. 2015年の改修時に増築した飲食スペース「ほっとサロン」

■建物概要

年代	当初：1923年～1927年竣工 改修：（設計期間）1994年11月～1995年7月 （施工期間）1995年10月～1996年10月
設計者	当初： 改修：水野一郎＋金沢計画研究所
延床面積	4,017㎡
階数	地上2階 一部平屋建て
構造	既存部分：木造一部煉瓦造 補強部分：鉄骨造及び鉄筋コンクリート造
登録等	登録有形文化財
事業運営	指定管理者制度
改修前の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・1941年に大和紡績株式会社金沢工場 ・1993年に操業停止となった。
保存改修の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大和紡績倉庫群を演劇・音楽・美術活動等の練習の場や、アトリエ、レストラン等に改修した ・構造形式の異なる6棟に対しそれぞれにプログラムをあてはめ、個別に適切な耐震補強をしている

■当日写真



写真1. 施設外観



写真2. 施設利用状況等について、説明を受けた

(6) 金沢市民芸術村

■当日写真



写真3. オープンスペースは、小屋組みを可能な限り保存・補強した

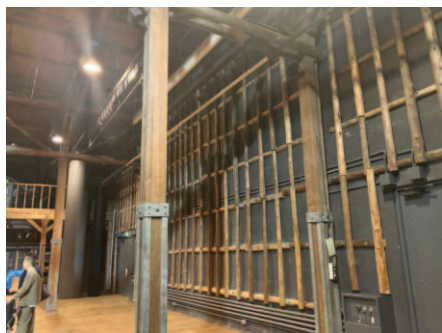


写真4. 既存の内壁に貼られていた半割の丸太を利用している



写真5. 既存のレンガ壁を活用したスタジオ



写真6. アート工房は、既存躯体を生かしつつ、白い展示空間としており、原状復帰すれば自由に活用可能



写真7. アート工房の階段下は倉庫として活用されている